

能と狂言

鏡仙会

TESSENKAI

定期公演

狂言
水掛掣

山本泰太郎

能
采女

清水 寛二



2025年4月11日(金)
午後6時開演(午後5時30分開場)
会場 観世能楽堂

鎌仙会定期公演〈4月〉

2025年4月11日(金) 午後6時開演

狂言 水掛掣

みずかけむこ

シテ 掣 山本泰太郎
アト 勇 山本 則孝
女 山本凜太郎

この辺りの百姓が自分の田に水がなくなっていることに
気付く。見れば隣の掣の田に水が全て流れ込んでいない
やがて掣もまた自分の田に水がなくなっているのに気付
き、隣の勇の田から自分の田に水を流して帰る。
さて翌日、顔を合わせた二人は口論となり、畦を作っ
たり切ったりして、互いに自分の田へ水を引いているう
ちに、水しぶきが勇にかかり…。

〈休憩15分〉



能 采女

うねめ

前シテ 里女 清水 寛二
後シテ 采女 清水 寛二
ワキ 旅僧 宝生 欣哉
ワキツレ 従僧 御厨 誠吾
〃 〃 宝生 尚哉
アイ 〃 〃 山本 則重
里人 山本 則重
笛 八反田智子
小鼓 鶴澤洋太郎
大鼓 國川 純
地頭 片山九郎右衛門

頃は春。奈良春日野を訪れた旅の僧が春日神社へ向う
と里の女が現れる。女は僧を猿沢池に案内すると、かつて
帝に寵愛された采女(帝に仕える女官)が帝の心変わりに
深く哀しみ、この池に身を投げて死んだのだと語る。さら
に実は自分こそその采女なのだと明かすと、女は僧に回向を
頼んで池の中へと消え失せてしまう。
夜すがら読経して僧が采女を弔っていると、やがて采女
の亡霊が僧の回向に感謝しつつ現れる。
僧は草木国土悉皆成仏の理を説いて采女の成仏を約束
すると、采女も自分は既に変成男子を遂げた身だと言っ
て往生を遂げられることを喜ぶ。

さらに采女はかつての華やかな日々を思いを馳せて舞を
舞うと、再び池の底へと姿を消すのだった。
地方豪族の娘で帝に仕えた才女、采女と呼ばれる女たち
その宮廷での華やかな日々と、帝に愛を捧げて死んだ女を
古代の大らかな空気の中に描いた能。

〈午後8時55分頃終了予定〉

◎より詳しい解説を鎌仙会ホームページにて順次公開しております
ご観能前には是非ご覧下さい。

※携帯電話等、音や光の出る機器の電源は予めお切り下さい。
※無許可の写真撮影、録音、録画は固くお断り致します。
※客席内での飲食はご遠慮下さい。

会場

観世能楽堂(全席指定)

〈交通〉銀座駅(A3)徒歩2分
東銀座駅(A1)徒歩3分
有楽町駅(銀座出口)徒歩10分

T104・0061
東京都中央区銀座6-10-1
GINZA SIX 地下3階
TEL 03-6274-6579

※併設の駐車場がございます。
詳しくはGINZA SIX
ホームページにてご確認ください。

入場料：S 席 7,000円
A 席 6,000円
B 席 5,000円
C 席 4,500円
U 25歳以下 2,700円

賛助会員 年間指定席/年11回
S 会員 175,000円
A 会員 165,000円
B 会員 154,000円
C 会員 149,000円

回数券 定期公演・青山能共通/5枚綴り
一般回数券 222,000円
U 25歳以下 回数券 110,000円
※2025年度の定期公演・青山能でご利用頂けます。
ご予約受付中。詳しくは鎌仙会までお問い合わせ下さい。

お問い合わせ・お申し込み.. 鎌仙会

電話 03-3401-2285(平日10~17時)
ホームページ <http://www.tessen.org>
予約受付開始.. 2025年1月14日(火) WEB 10時、電話 13時

鎌仙会定期公演〈5月〉予告

会場：観世能楽堂

5月9日(金) 午後6時開演

能 忠度

平忠度の霊は朝敵ゆえに自分の歌が詠人知らずとされたことが安執だと訴える。 観世 淳夫

狂言 舟船

舟をふねと呼ぶか、ふねと呼ぶか。主従は互いに自分の方が正しいと主張し。 山本東次郎

能 胡蝶

胡蝶の精は僧の回向により縁結び、梅花に戯れることが出来たと喜びの舞を舞う。 鶴澤 久

鎌仙会青山能〈5月〉予告 会場：鎌仙会能楽研修所

5月28日(水) 午後6時30分開演

狂言 磁石

太刀で追ひ詰められた男は咄嗟に磁石の精を名乗り、刀を呑もうと逆襲する。 野村万之丞

能 富士太鼓

管絃の太鼓の役を争い死んだ男の妻はあ、太鼓こそ夫と太鼓を打ち鳴らす。 安藤 貴康

写真 (采女・美奈保之伝) 観世鏡之丞 撮影・吉越研

